

令和3年度 59回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護学概論	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/成人看護学
開講年次・時期	1年前期 令和3年7月12日～12月	単位数/時間	1単位/30時間
担当講師名	石崎 美由紀	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師免許
授業の概要	成人の多様な生活状況と健康問題を理解し、成人期にある対象への看護の役割について学ぶ。成人期の多様な健康障害と看護アプローチについて学ぶ。		
到達目標	1. 成人期にある対象の発達段階の特徴、発達課題が理解できる 2. 各病期にある対象の特徴が分かり、必要な援助を考えることができる 3. 看護で活用できる理論について理解できる		
事前学習内容	医学書院「看護のための人間発達学」第1章“人間と発達”（p4～18）に事前に目を通す		
成績評価の方法	筆記試験による評価（100点）、授業態度（態度が著しく悪いときは減点対象とする）		
使用テキスト	1. 成人看護学総論 成人看護学 [1], 小松浩子, 医学書院, 2021（第2・4・5章は除く） 2. 看護のための人間発達学第5版, 舟島なをみ, 医学書院, 2017. 3. 看護実践に活かす中範囲理論第2版, 野川道子, メヂカルフレンド社, 2016. 4. 国民衛生の動向 2021/2022		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	看護学における成人の考え方 : 第1章		講義
第2回	成人期の各発達段階の特徴 成人期の発達課題・発達危機（エリクソン／ハヴィガースト） : 第1章		講義
第3回	経過別看護の考え方（急性期・回復期・慢性期・終末期）		講義
第4回	大人の健康行動の捉え方／成人教育学（アンドラゴジー） : 第3章（p90～96）		講義
第5回	急性期にある対象の理解 : 第6章（p190～200）		講義
第6回	危機理論（1）フインクの理論の活用 : 第6章（p200～208）		講義
第7回	危機理論（2）アギュララとメズイックの理論の活用 : 第6章（p200～208）		講義
第8回	慢性期にある対象の理解 : 第7章（p214～217、p222～228） コンプライアンス／アドヒアランス : 第10章（p282～284）		講義
第9回	自己効力理論（1） : 第7章（p228～231）、第10章（p284～285）		講義
第10回	自己効力理論（2）事例検討		講義／GW
第11回	セルフマネジメント教育（1） : 第10章（p281～292）		講義
第12回	セルフマネジメント教育（2）事例検討		講義
第13回	人の死について／死の受容過程／死生観 : 第9章		講義
第14回	終末期にある対象の理解／トータルペイン : 第9章		講義
第15回	終末期にある対象への看護の役割 : 第9章		講義／GW
	終講試験（45分）		
履修上の留意点	1. 授業の中でテキストはあまり使用しないため、関連する箇所は復習の際にテキストをよく読む 2. 授業では「考える」ことを習慣化してほしい 3. 受け身ではなく、主体的に授業に臨むよう心掛けてほしい		